

フィットテストのための フェイシャルヘアガイドライン



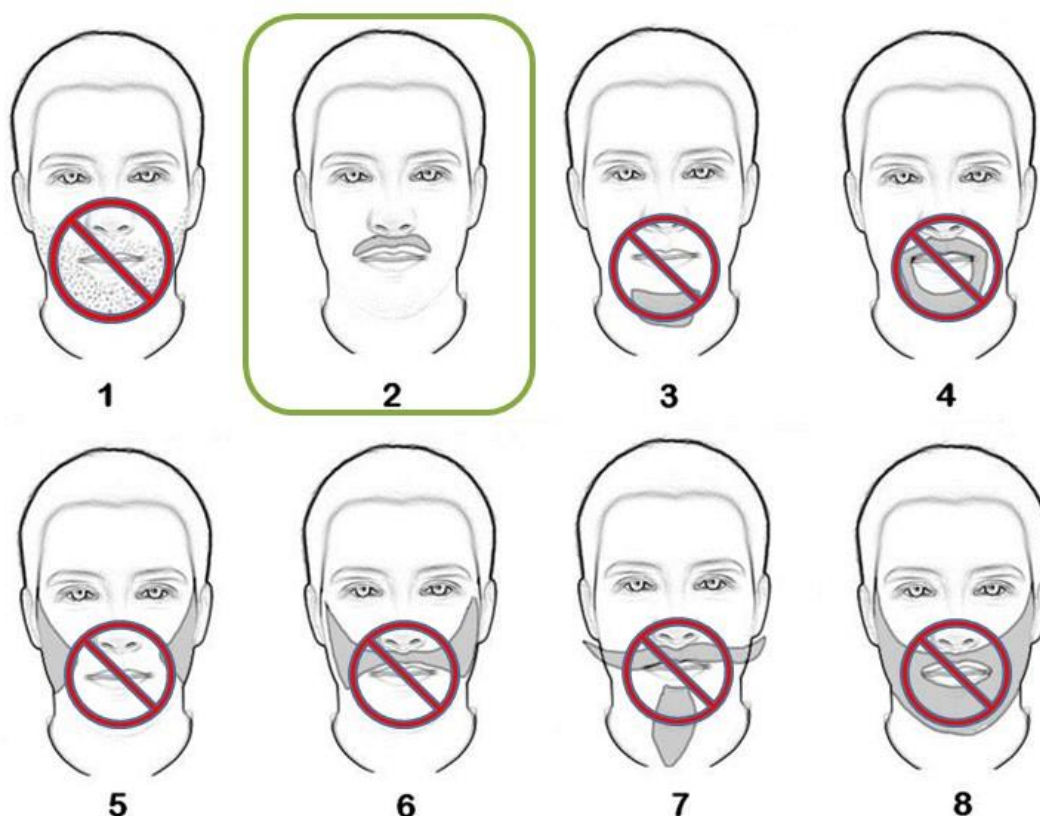
アプリケーションノート RFT-025 (A4)

フェイシャルヘアガイドライン

フィットテスト基準では、マスクのシール面を妨げたり、マスクの弁機能を妨げたりするひげは許可されていません。

以下の図は、図 2 を除いてマスクのシール面に干渉するひげパターンの例です。ほとんどのマスクでは、図 2 のように口ひげをトリミングして、マスクのシール面やバルブとの干渉を防ぐことができます。

マスクの密閉面にひげがあると、汚染物質がマスク内に漏れる可能性があり、マスクの使用者が汚染物質にさらされる危険があります。マスクが指定防護係数を提供するには、マスクがユーザーの顔にしっかりと密着する必要があります。ひげはこのシールを妨げるため、マスク使用者は管理する必要があります。



上から下、左から右へ: 無精ひげ (1)、口ひげ (2)、ヤギひげ (3)、フレンチ カット (4)、マトン チョップ (5)、「フレンドリー」マトン チョップ (6)、ヴァン ダイク (7)、フルビアード (8)

出典- WIKIPEDIA (https://en.wikipedia.org/wiki/Facial_hair)

OSHA 1910.134 (米国)

1910.134(g)(1): 面体シール保護。

1910.134(g)(1)(i):

雇用主は、以下の項目に該当する従業員に、密着する面体を持つマスクを着用させてはならない:

1910.134(g)(1)(i)(A): 面体のシール面と顔面との間に入る、またはバルブの機能を妨げるひげ、または

1910.134(g)(1)(i)(B): 面体のシールまたはバルブの機能を妨げる状態。

CSA Z94.4-11 (カナダ)

9.2.2 ひげ

個人は、マスクが顔または首の皮膚に密着する場所で髪の毛の干渉がない状態でフィットテストを受ける必要があります。

毛髪の成長速度はさまざまですが(付属文書Mの許容できる顔面毛髪と許容できない顔面毛髪の例を参照)、多くの場合、毛髪がレスピレータのシール面を侵害したり、バルブやレスピレータの機能を妨げたりしないように、24時間以内、できれば12時間以内にきれいに髭を剃る必要があります。

JIS T8150 JD.4.1

頭髪・ひげ(無精ひげ、顎ひげ、口ひげ、長いもみあげなど)がある場合、又は顔とタイトフィット形呼吸用保護具との接顔部に装飾具、その他の衣類などがある場合は、フィットテストを実施してはならない。



Knowledge Beyond Measure.

USA 電話: +1 800 680 1220
UK 電話: +44 149 4 459200
フランス 電話: +33 1 41 19 21 99
ドイツ 電話: +49 241 523030

インド 電話: +91 80 67877200
中国 電話: +86 10 8219 7688
シンガポール 電話: +65 6595 6388

TSI および TSI ロゴは TSI Incorporated の登録商標です。
Wikipedia は、非営利団体である Wikimedia Foundation, Inc. の登録商標です。